



2021年11月30日

各位

会社名 株式会社 Kids Smile Holdings
代表者名 代表取締役社長 中西 正文
(コード: 7084 東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役 田上 節朗
(TEL. 03-6421-7015)

(訂正)「事業計画及び成長可能性に関する事項」の一部訂正について

本日開示いたしました「事業計画及び成長可能性に関する事項」において、記載内容の一部に下記のとおり誤りがありましたので訂正いたします。なお、訂正後の資料を当該お知らせに添付しております。

記

1. 訂正の内容

《訂正前》

・46 ページ

時期	案件	規模	予定額
2023年3月期開設	認可保育所	3～4施設	6～8億円程度
2023年3月期開設	民間教育サービス	2～3施設	2～3億円程度

《訂正後》

・46 ページ

時期	案件	規模	予定額
2023年3月期開設	認可保育所	2～3施設	4～6億円程度
2023年3月期開設	民間教育サービス	3～4施設	3～4億円程度

訂正箇所は赤丸で囲った数字になります。

《訂正前》

●投資計画(見通し) KIDS SMILE HOLDINGS

■今後の投資計画

時期	案件	規模	内容	予定額	着手予定	完了予定
2023年3月期開設	認可保育所	3~4施設	内装整備 初期備品 礼金、保証金 など	6~8億円程度	2021年7月~	2022年1月以降
	民間教育サービス	2~3施設		2~3億円程度	2022年7月以降	2022年10月以降
2024年3月期開設	認可保育所	2~3施設		4~6億円程度	2022年7月以降	2023年1月以降
	民間教育サービス	4~6施設		4~6億円程度	2022年11月以降	2023年1月以降

※投資計画については、現段階の見通しで作成しています。
 ※今後の開設は、社会情勢や物件状況を見極めながら実施していきます。

© 株式会社 Kids Smile Holdings 46

《訂正後》

●投資計画(見通し) KIDS SMILE HOLDINGS

■今後の投資計画

時期	案件	規模	内容	予定額	着手予定	完了予定
2023年3月期開設	認可保育所	2~3施設	内装整備 初期備品 礼金、保証金 など	4~6億円程度	2021年7月~	2022年1月以降
	民間教育サービス	3~4施設		3~4億円程度	2022年7月以降	2022年10月以降
2024年3月期開設	認可保育所	2~3施設		4~6億円程度	2022年7月以降	2023年1月以降
	民間教育サービス	4~6施設		4~6億円程度	2022年11月以降	2023年1月以降

※投資計画については、現段階の見通しで作成しています。
 ※今後の開設は、社会情勢や物件状況を見極めながら実施していきます。

© 株式会社 Kids Smile Holdings 46

2. 訂正の理由

認可保育所と民間教育サービスの規模について、転記誤りにより逆に記載しており、結果、投資予定額も異なっておりました。

以上

事業計画及び成長可能性に関する事項

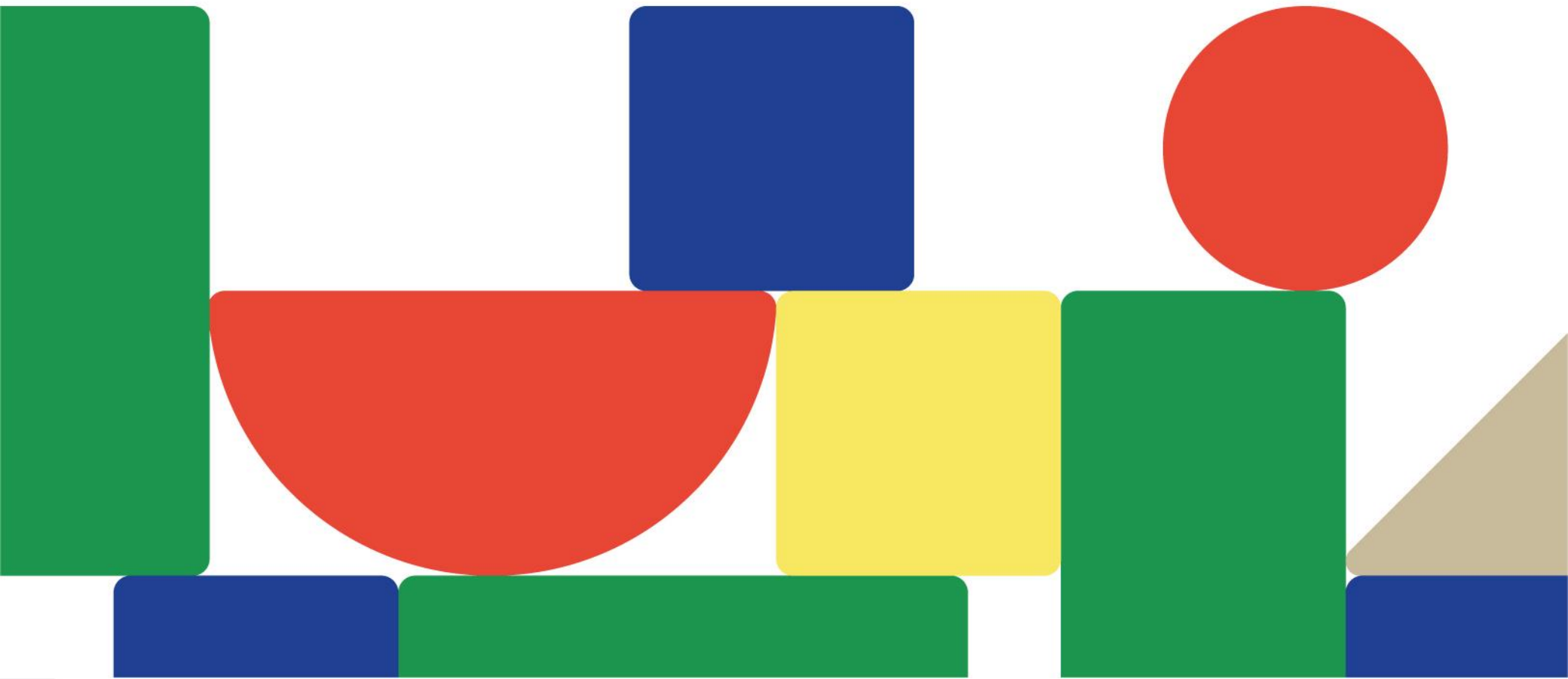
2021年11月30日

株式会社Kids Smile Holdings

証券コード：7084

教育を通じて社会に貢献する

KIDS SMILE HOLDINGS



事業計画及び成長可能性に関する事項 目次

● 企業ビジョンと会社概要	P2
● 事業内容	P5
● 民間教育サービス事業について	P9
● 認可保育所事業について	P16
● 当社の強み	P20
● 市場環境のこれから	P27
● キッズガーデン教育圏の確立と成長戦略	P33
● 事業の拡大イメージ	P40
● 中期目標数値と事業計画	P43
● リスク情報	P47

子どもたちが、自ら未来を切り開く力を身に付けていくために、そして女性がますます活躍できる社会としていくために、私たちはその実現に向けて「保育に教育を」の思いで、教育に軸を据えた事業を行ってきました。

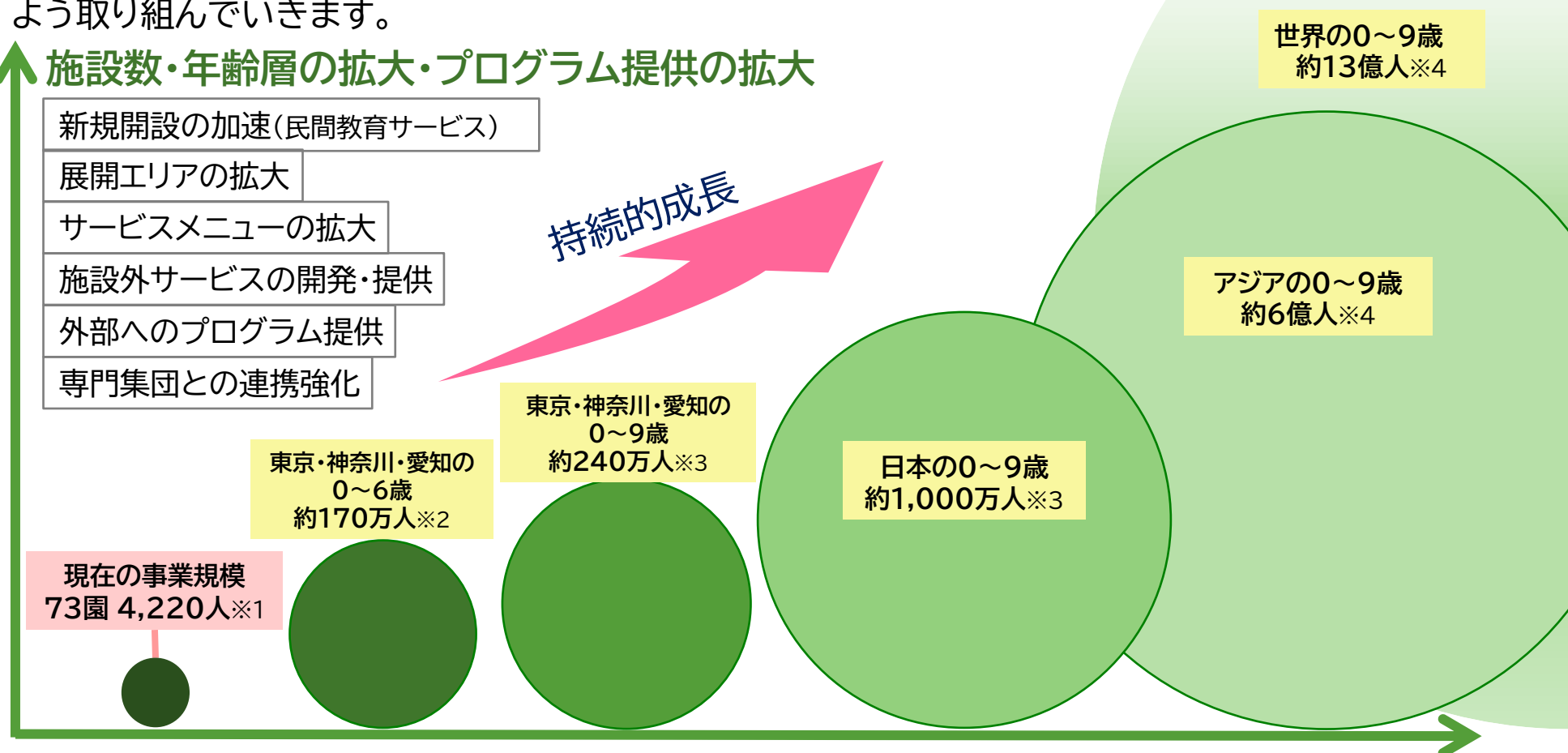
私たちは、この歩みを力強く続けるとともに、これからはさらに事業領域を広げ、より多くの保護者の皆様とともに、より多くの子ども達の成長を支え、全てのステークホルダーの皆様のご期待に応えていきたいと考えています。

「私たちの使命」

- ・教育を通じて社会に貢献する。
- ・未来に輝く子どもたちを育てる。

当社グループは、東京を中心に保育所等の施設運営事業を展開しています。これからは施設運営事業に加えて「プログラム提供」を事業の軸に据え、様々なチャンネルを通じて当社プログラムを展開するとともに利用者数を増やし、世界を視野に、持続的な成長が実現できるよう取り組んでいきます。

↑ 施設数・年齢層の拡大・プログラム提供の拡大



※1:2021年10月現在の当社グループ運営実績

※2:東京都HP「東京の統計」、神奈川県HP「神奈川県年齢別人口統計調査」、愛知県HP「愛知県の人口 愛知県人口動向調査結果 推計人口統計表一覧」より当社作成

※3:総務省「令和3年住民基本台帳年齢階級別人口(都道府県別)」より当社作成

※4:総務省統計局「世界の統計2021」より作成

社名	株式会社Kids Smile Holdings
設立	2018年4月2日
所在地	東京都品川区西五反田1-3-8
資本金	575,652,000円(2021年9月30日現在)
連結子会社	株式会社Kids Smile Project
当社グループの 主な事業内容	認可保育所の運営 認可外保育施設・幼児教室・学童施設の運営 ※東京を中心に73施設運営(2021年10月現在) 幼児教育教材開発・販売等
上場市場	東京証券取引所マザーズ(証券コード: 7084)
従業員数	連結:1,417名(2021年9月30日現在) ※パート・契約社員含む



代表取締役社長 中西正文

1995年 早稲田大学法学部卒業
株式会社博報堂入社

2008年 株式会社Kids Smile Project 設立
代表取締役社長に就任

2018年 株式会社Kids Smile Holdings 設立
代表取締役社長に就任

事業計画及び成長可能性に関する事項 目次

● 企業ビジョンと会社概要	P2
● 事業内容	P5
● 民間教育サービス事業について	P9
● 認可保育所事業について	P16
● 当社の強み	P20
● 市場環境のこれから	P27
● キッズガーデン教育圏の確立と成長戦略	P33
● 事業の拡大イメージ	P40
● 中期目標数値と事業計画	P43
● リスク情報	P47

0歳から9歳を対象とした保育・幼児教育サービスを提供。
民間教育サービス事業、認可保育所事業の2つを軸として展開しています。



民間教育サービス事業

事業内容:

- 教育施設の運営
プレスクール一体型保育所
ハイエンド向け学童施設、幼児教室
運動/野外体験教室 等
- 教育プログラム提供による施設運営支援



運営施設数:7 / 在籍児童数:633人※



認可保育所事業

事業内容:

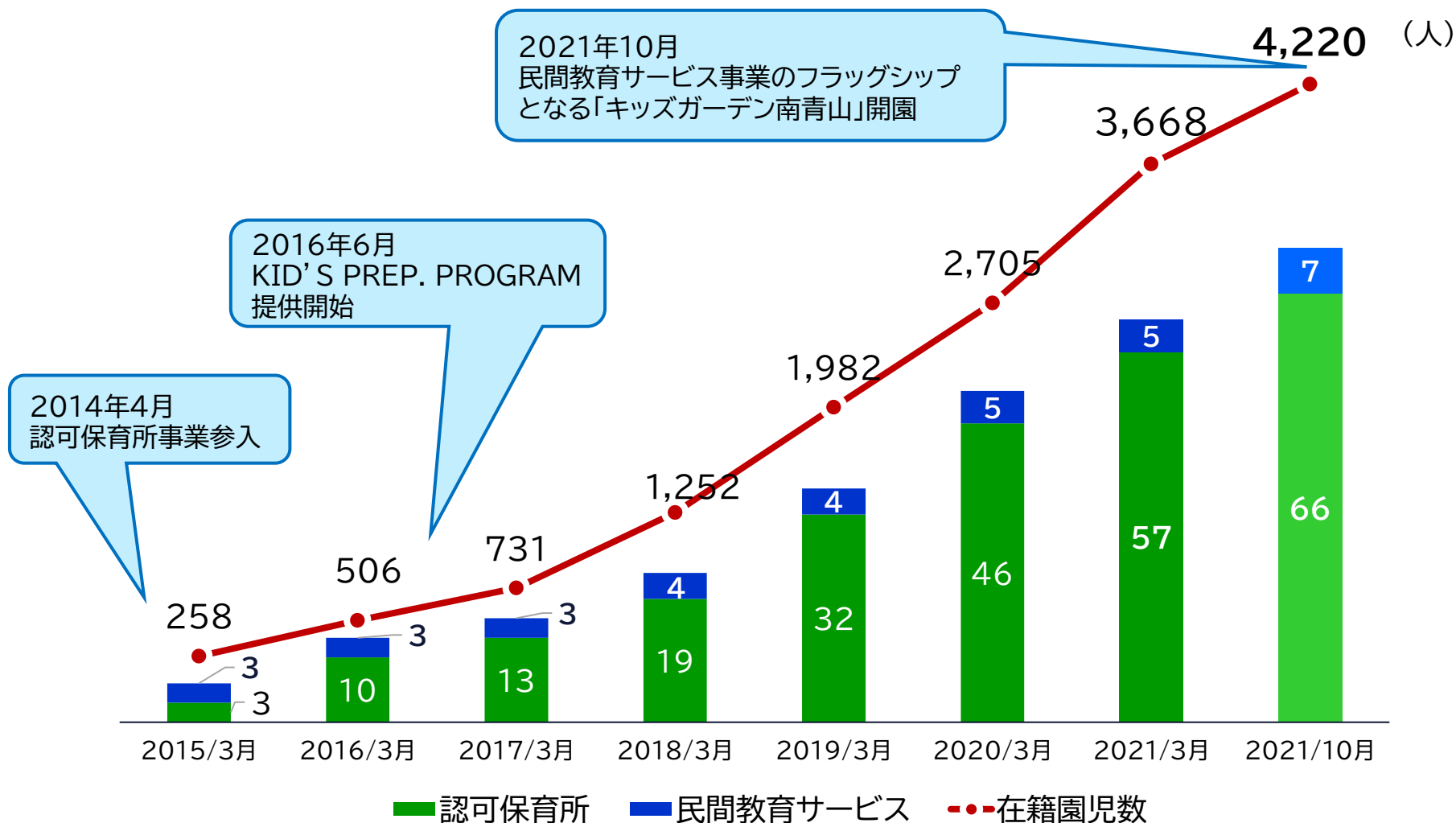
- 認可保育所の運営
東京都・神奈川県・愛知県に展開



施設数:66 / 在籍児童数:3,587人※

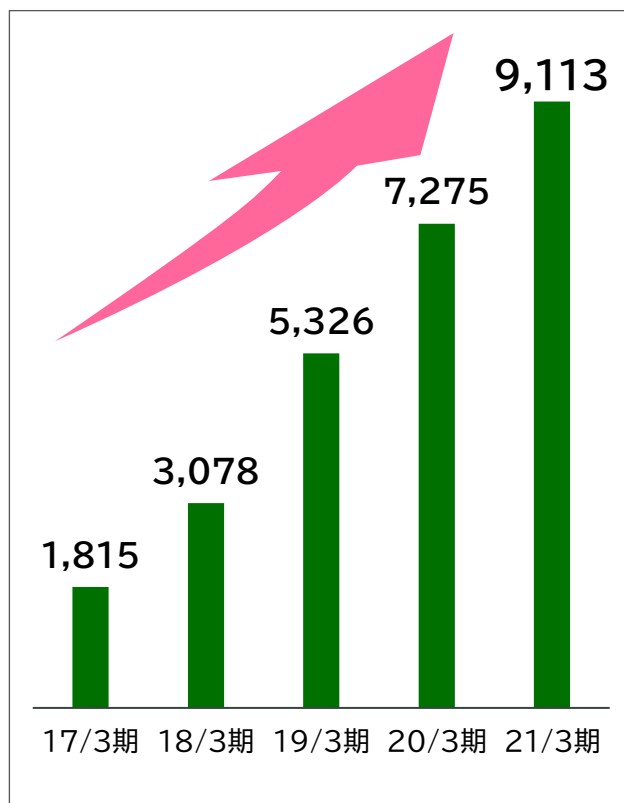
● 運営施設数及び在籍児童数の推移

新規開設を進め、在籍児童数も順調に伸長しています。

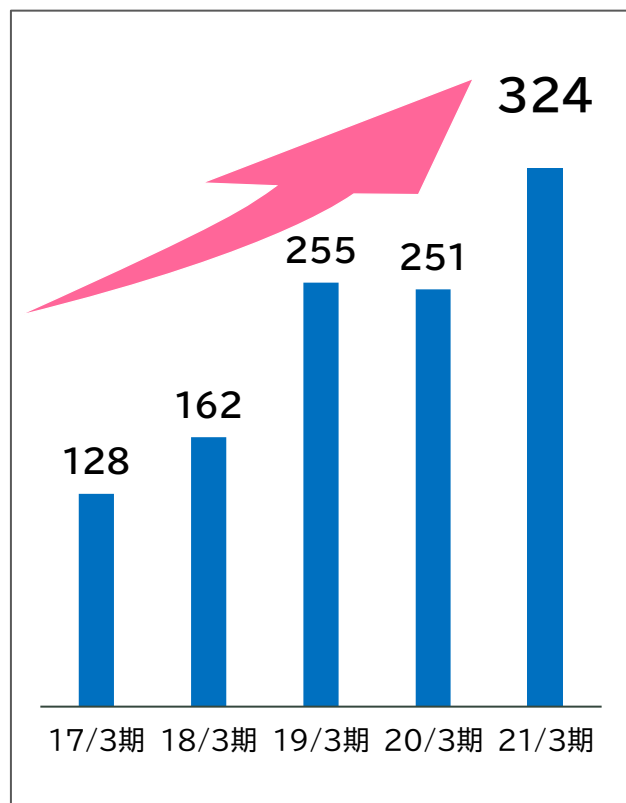


施設数の増加に比例して、売上高は増加傾向で推移しています。
 また、既存施設の収益力向上に伴い、EBITDAも増加傾向で推移しています。
 (2018年3月期までは株式会社Kids Smile Project単体、2019年3月期以降は株式会社Kids Smile Holdings連結の数値を記載)

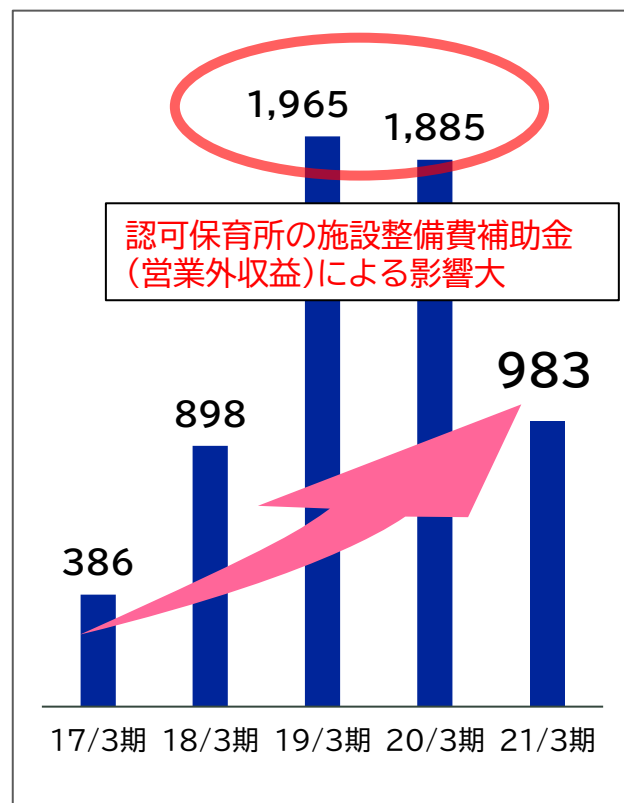
売上高



EBITDA(営業利益+減価償却費)



経常利益※



※経常利益は、施設整備費補助金(営業外収益)による影響大
 (参考)認可保育所開園数/19年3月期:13園、20年3月期:14園、21年3月期:11園(内2園施設整備費補助金無し)

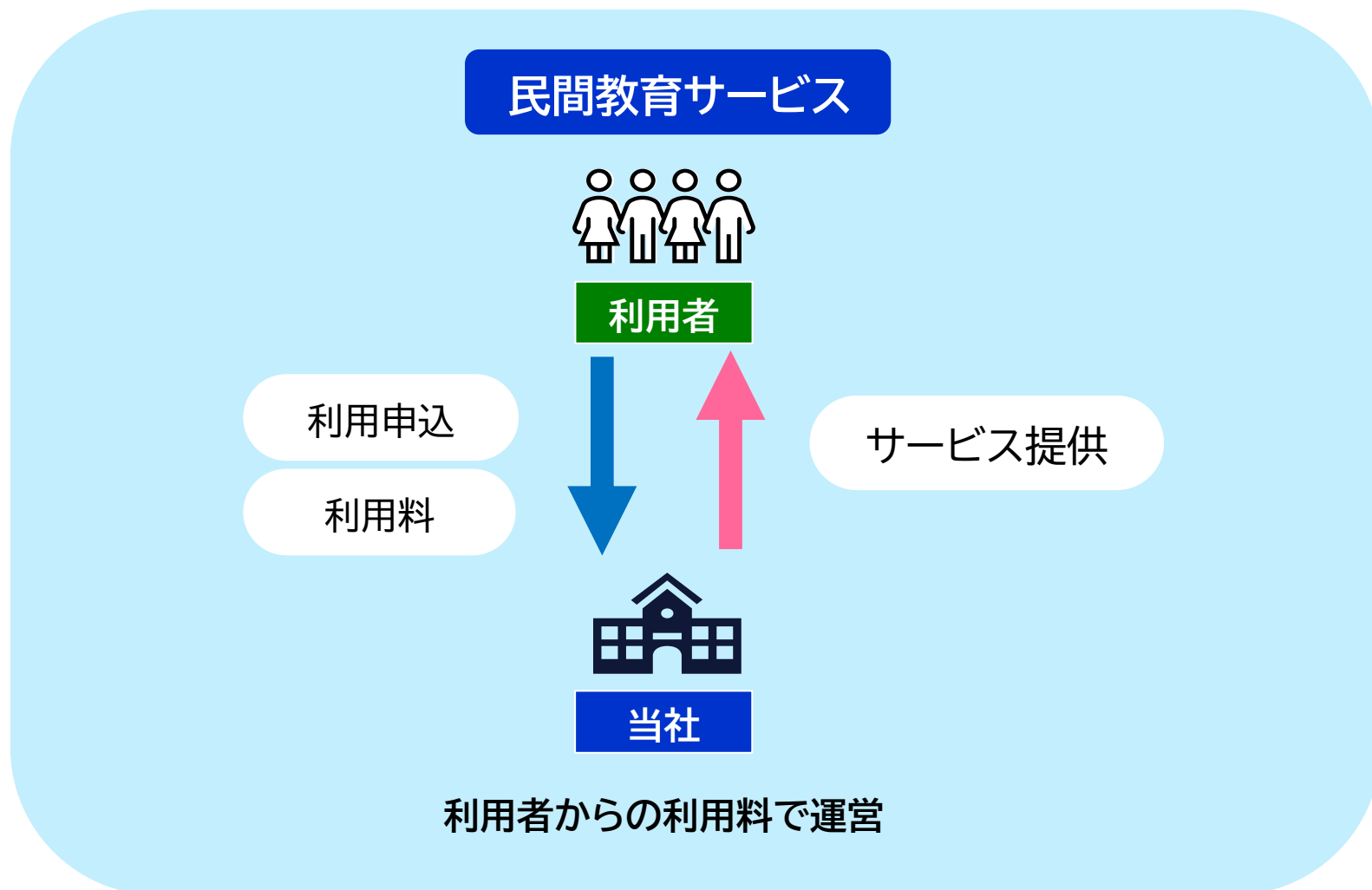
(百万円)

事業計画及び成長可能性に関する事項 目次

● 企業ビジョンと会社概要	P2
● 事業内容	P5
● 民間教育サービス事業について	P9
● 認可保育所事業について	P16
● 当社の強み	P20
● 市場環境のこれから	P27
● キッズガーデン教育圏の確立と成長戦略	P33
● 事業の拡大イメージ	P40
● 中期目標数値と事業計画	P43
● リスク情報	P47

●民間教育サービス 収益構造

利用者に保育・教育サービスを提供し、その対価として利用者から直接利用料を受け取ります。高水準の教育サービスを提供する事で、高い収益性を生み出す事業です。



当社グループの民間教育サービス事業の特長は、以下の4つです。

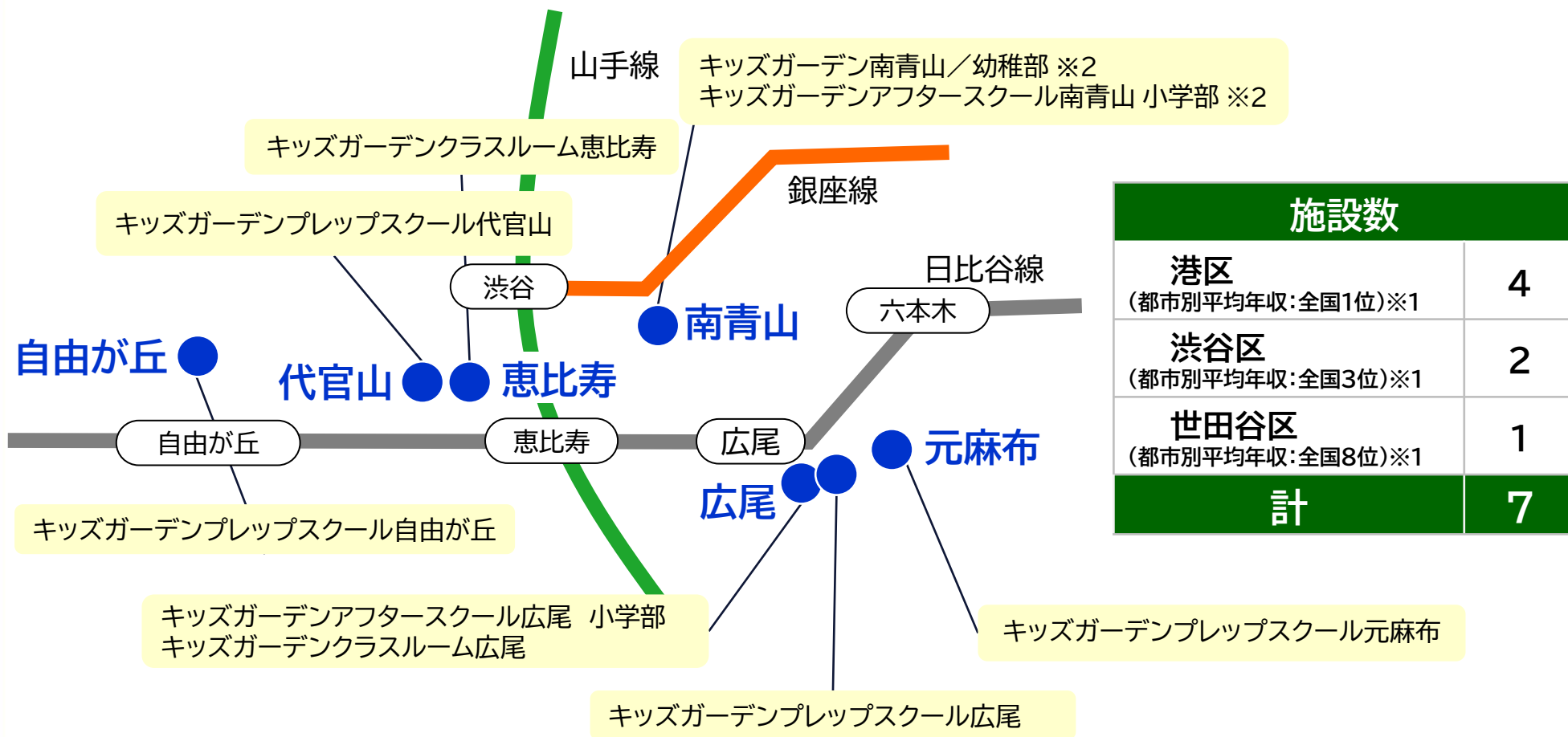
民間教育サービス
事業の4つの特長

1. 教育感度の高い都内中心エリアでの展開
2. 年齢別に用意されたコース設定
3. 世界の優れた教育プログラムの導入・開発
4. 利用者視点での質の高いサービス提供

●民間教育サービス 運営施設数

2021年10月時点 **KIDS SMILE HOLDINGS**

教育感度が高く、積極的に子どもの教育へ投資する層が多い都内中心エリアに開設。
充実した教育サービスを展開しています。



※1:総務省「課税標準額段階別令和2年度分所得割額等に関する調」より当社作成

※2:キッズガーデン南青山 幼稚部、キッズガーデンアフタースクール南青山 小学部は2022年4月開校

年齢に応じ、4つのコースを中心に、保育・教育の充実したサービスを提供し、キッズガーデンブランドとして利用者から高い支持を得ています。

0歳～9歳までの一貫した保育・教育サービス

 **KIDS GARDEN**
PREP SCHOOL

プレスクール
1～3歳



幼稚部
4～6歳



小学部(学童)
7～9歳

 **KIDS GARDEN**
CLASSROOM

クラスルーム※(幼児教室)
0～6歳

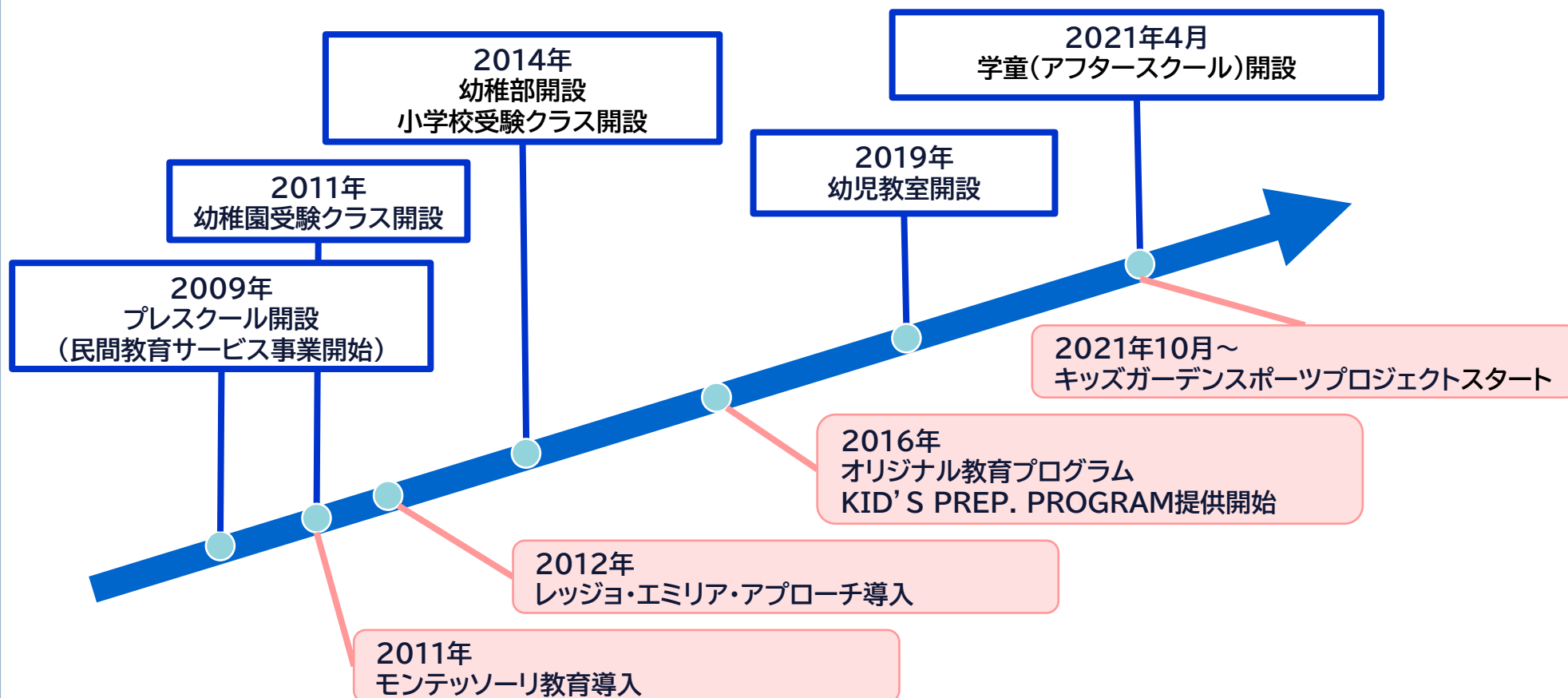
※年齢別のコースを開設

現在、「習い事つき幼児アフタースクール」(4～6歳児向け)、「トドラーモンテッソーリ&知育クラス」(1～3歳児向け)、「Baby & Mommy Montessori」(0歳児&保護者向け)の3つのコースを開設。

●民間教育サービス事業 提供プログラム

海外で注目されている教育プログラムや、独自に開発したプログラムを導入することで、高いレベルの教育サービスを提供しています。

主な開設コース・教育プログラム



自由が丘で1園目を開設したときから、利用者の視点に立ち、期待とニーズに応えることで培ってきた高いサービスレベルが、キッズガーデン・プレップスクールのDNAです。

◆丁寧な対応を心がけ、信頼に応える運営

◆利便性が高い予約ルールとシステム

- ・保育の予約も振替も前日正午まで可能
- ・スマホ・PCで予約完結

◆子どもの成長を実感できるサービス

- ・オンラインによる連絡帳や成長記録の配信
- ・プロカメラマンによるイベント撮影

◆安全で美味しい給食提供

- ・産地からこだわりの食材や調理

◆家庭で楽しめる映像配信

- ・保育参観や発表会、行事のオンライン配信
- ・オンラインによる保護者面談の実施

⇒利用者からの高い評価が「選ばれる力」の源泉

	月	火	水	木	金
8:00	順次登園				
9:00	空手	体操	KID'SPREP. PROGRAM	KID'SPREP. PROGRAM	体操
9:45	モーニングサークル(朝の会)/アサカツ(英語)				
10:30	KID'SPREP. PROGRAM	モンテッソーリ・そろタッチ	体操	かけっこ	KID'SPREP. PROGRAM
11:30	お散歩または室内遊び	ランチタイム	お散歩または室内遊び		
12:00	ランチタイム	水泳 (12:30~)	ランチタイム		
13:00	モンテッソーリ・そろタッチ		モンテッソーリ・そろタッチ		
15:00	スナックタイム				
15:30	音楽	書道	受験絵画	ダンス	プレゼンテーション
16:30~	順次降園				

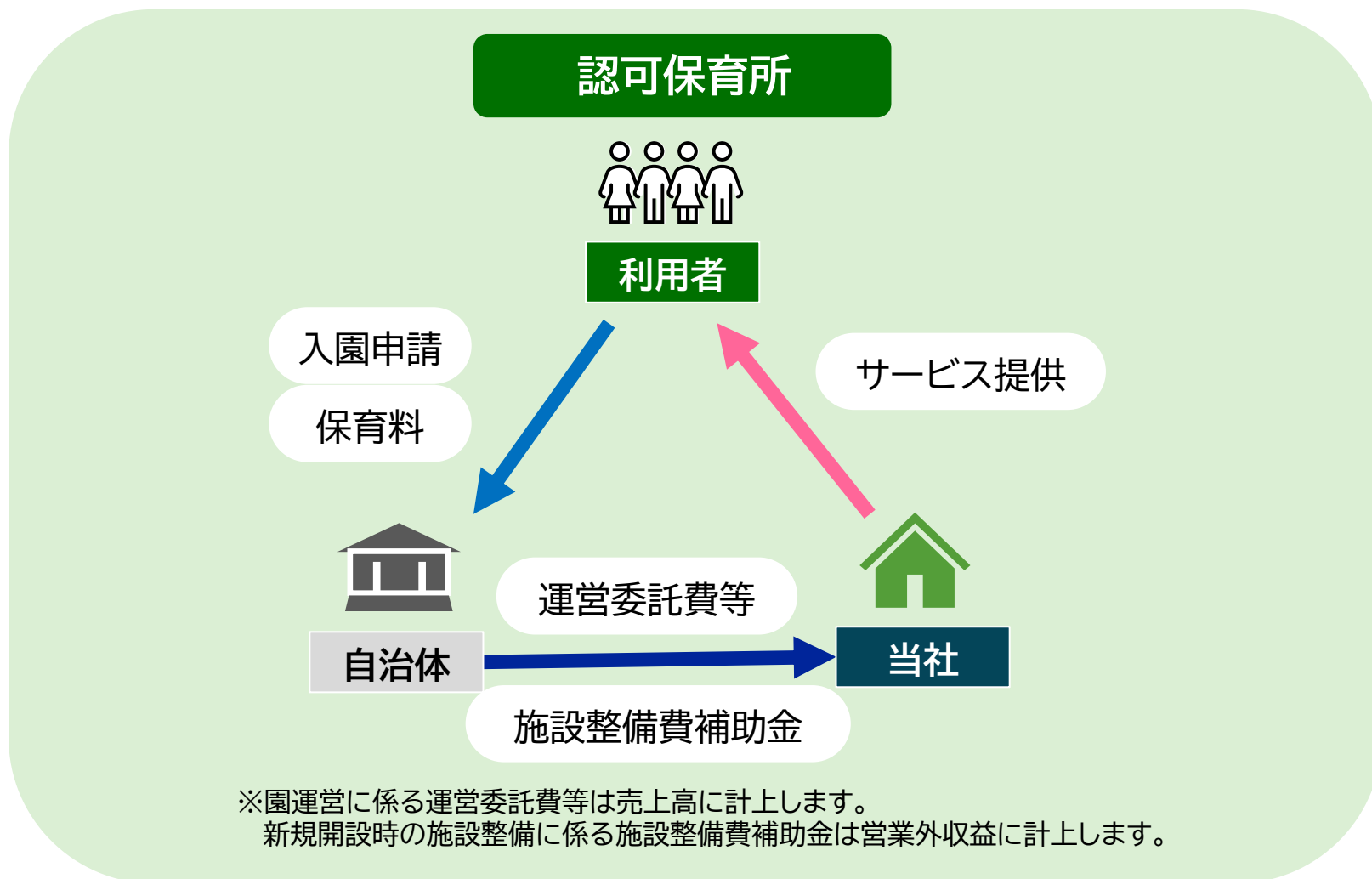
1週間のプログラムの例(代官山園幼稚部年少クラス)



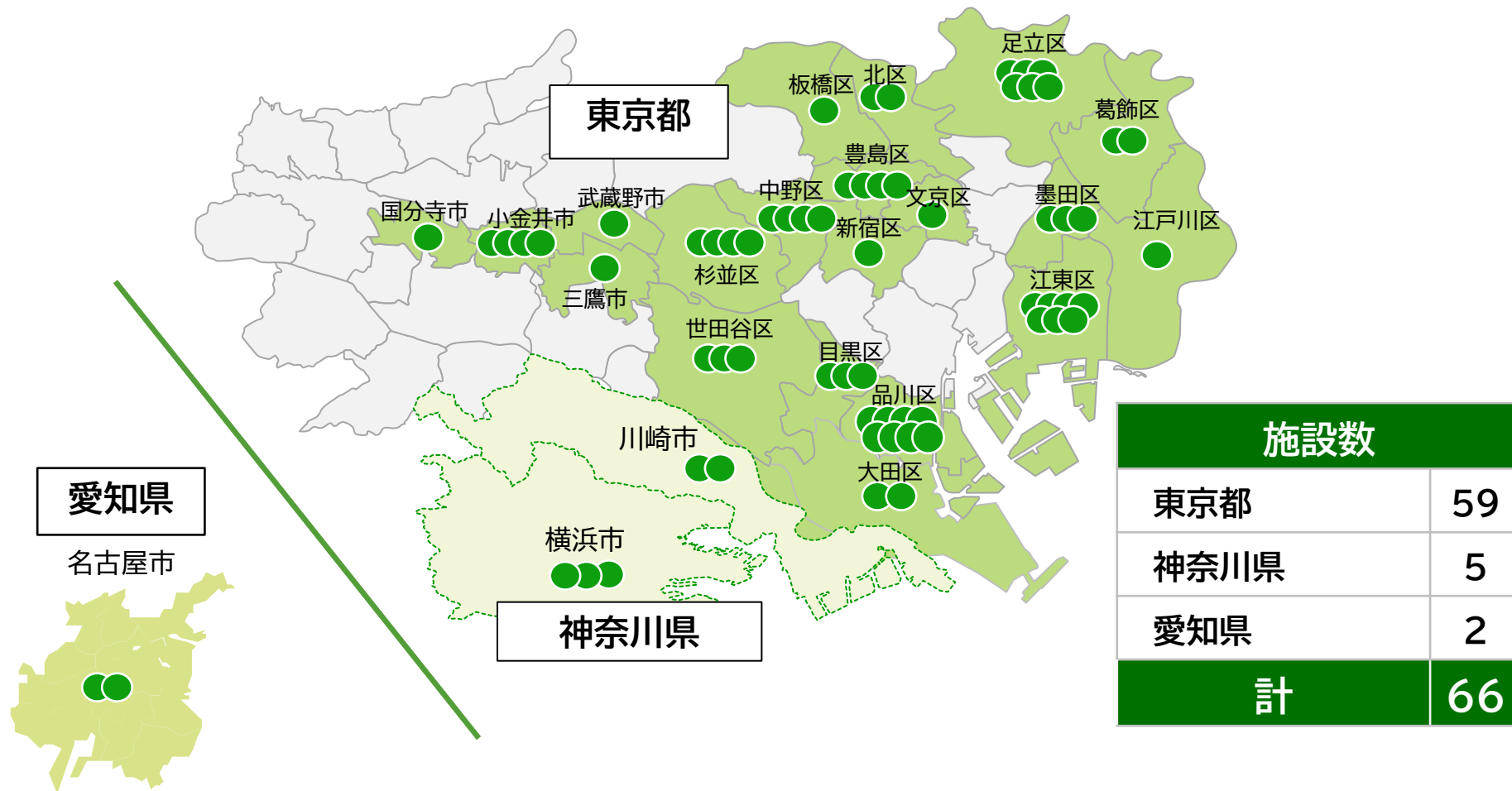
事業計画及び成長可能性に関する事項 目次

● 企業ビジョンと会社概要	P2
● 事業内容	P5
● 民間教育サービス事業について	P9
● 認可保育所事業について	P16
● 当社の強み	P20
● 市場環境のこれから	P27
● キッズガーデン教育圏の確立と成長戦略	P33
● 事業の拡大イメージ	P40
● 中期目標数値と事業計画	P43
● リスク情報	P47

認可保育所事業は、国や自治体からの補助金で運営する安定した事業です。
子育て支援における社会インフラとしての保育サービスを提供しています。

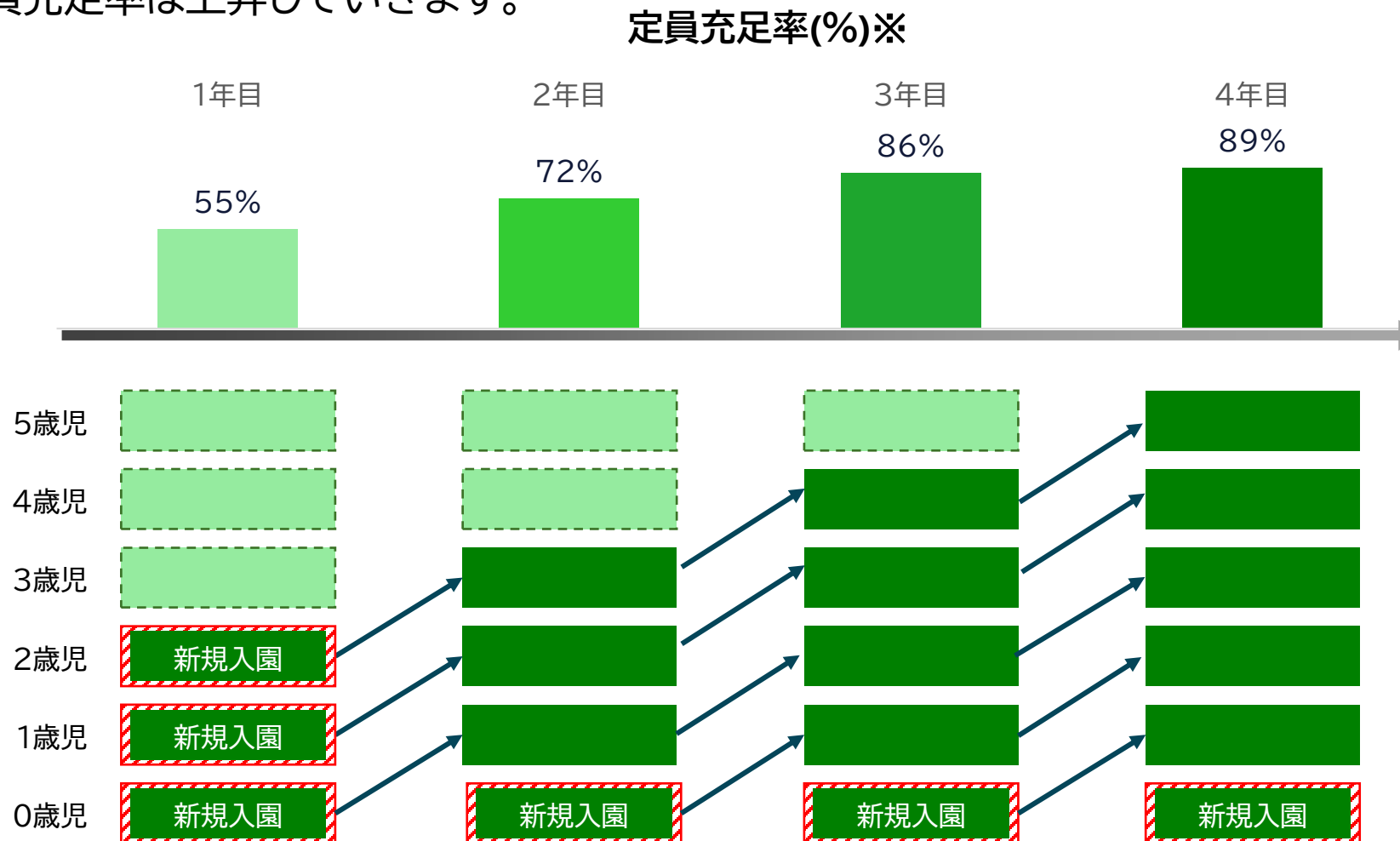


東京都・神奈川県・愛知県に66園を運営しています。



●認可保育所事業 充足率の推移

開設初年度は0～2歳の入園が中心となります。2年目以降、当該児童が進級することで、定員充足率は上昇していきます。



※定員充足率:2018年4月開園12園の平均から算出

事業計画及び成長可能性に関する事項 目次

● 企業ビジョンと会社概要	P2
● 事業内容	P5
● 民間教育サービス事業について	P9
● 認可保育所事業について	P16
● 当社の強み	P20
● 市場環境のこれから	P27
● キッズガーデン教育圏の確立と成長戦略	P33
● 事業の拡大イメージ	P40
● 中期目標数値と事業計画	P43
● リスク情報	P47

多彩な教育プログラムの開発と期待に応えるサービスに取り組むことで、利用者
に2つの価値を提供しています。それによる高い顧客満足に基づいた「選ばれる力」が
当社グループの最大の強みです。

追求してきた2つの価値の提供

◇ 教育的価値

0歳から9歳の一貫した
幼児教育を通じて、これからの
社会で必要となる力の
土台を作り、10歳以降の
「自ら学ぶ力」へとつなげる
教育の機会を提供

◇ 体験価値

当社グループが提供する
サービスやプログラムで、
子ども達の喜びや楽しみを
生み出すとともに、保護者
や家族の方には子どもの
成長を実感できる体験の
機会を提供

教育的価値、体験価値を実現する為に、様々な教育プログラム・サービスを開発・導入しています。

伸芽会と共同開発したオリジナルプログラム
KID'S PREP. PROGRAM

非認知能力を育む
モンテッソーリ教育

幼稚園受験・小学校受験に対応
受験クラス

ネイティブ講師による年齢別の授業
英語教室

遊びを通して「ソーシャルスキル」を身に付ける
チョイス・タイム・アクティビティ

創像力&好奇心を育む
アート&クラフト

トップアスリートトレーニングのノウハウがベース
体操プログラム

KITAJIMAQUATICS のプログラムを提供
水泳プログラム

礼儀作法、思いやりの心を育む
空手教室

リズム感や記憶力、集中力の発達を促す
ダンスプログラム

自然の中で学ぶ
野外体験教室

教育的価値
体験価値

その他、多数の専門講師を配置。本格的なレッスンを実践

● 当社の強み 専門集団とのパートナーシップ

多彩な教育プログラム・サービスの開発・導入のために、各分野の専門集団との連携を構築しています。

【主な連携先】



オリジナル教育プログラム
『KID'S PREP. PROGRAM』を
共同開発

- ・リソー教育グループ
- ・60年歴史を持つ幼児教育の
パイオニア



Brand Building &
Elite Representation

金メダリスト北島康介さんが代表を
務める株式会社IMPRINTが提供
する『KITAJIMAQUATICS』の
幼児向け水泳プログラムを導入

※2022年4月より開始予定



多くのオリンピックやトップアスリー
トのコンディショニングをサポートす
る株式会社 R-body project が
監修する体操プログラムの提供

【主な専門講師】

- モンテッソーリ講師(国際ディプロマ※取得)
※国際的なモンテッソーリの資格
- 空手講師(極真空手)
- ダンス講師(プロダンサー)
- 体操講師(体育大出身)
- 英語講師(ネイティブ講師)



ヒューリック株式会社

新規事業の検討・開設において
業務提携
・東証1部上場・大手不動産会社

OECD(経済協力開発機構)がその重要性を提起し、世界で注目される非認知能力の育成を重視した教育プログラムを行っています。

当社グループが育む幼児期の「非認知能力」

共感

- 相手の気持ちを正しく理解し、自分の気持ちを伝える事ができるコミュニケーション力の基礎をつくる。

体験

- 好奇心、探究心を持って積極的に物事に取り組むことで、達成感を育む。その達成感を更なる好奇心・探求心へと繋げる。

課題解決力

- 正解が一つではない問いに対して、自ら考え、自分の答えを導き出す。

世界で注目される非認知能力

ノーベル経済学賞を受賞したハックマン教授は、『幼児教育の経済学』において「乳幼児期に非認知能力を伸ばす教育を」と提言しています。また、OECD(経済協力開発機構)のレポート「OECD Skills Studies(2015年)」において、非認知能力にあたる社会情緒的スキル※を「フォーマル・インフォーマルな学習経験によって発達し、一生を通じて社会経済的成果に重要な影響を及ぼす個人の能力」と定義し、幼い時期の教育が人生に及ぼす影響と非認知能力の重要性を提言しています。

日本での非認知能力への注目

世界で非認知能力への注目が高まる中、文部科学省も学習指導要領において、育成すべき資質・能力に「学びに向かう力」や「人間性等」の非認知能力にあたる力を掲げるなど、非認知能力の育成が重要視されるようになりました。

※社会情緒的スキル:レポート内においては、①「目標の達成」、②「他者との協働」、③「感情のコントロール」の3つの領域に分類

子どもの非認知能力を育むことを目的として、独自開発のプログラムと世界で評価されたプログラムを提供しています。

KID'S PREP. PROGRAM



キッズプレッププログラムは、当社グループと幼児教育大手の「伸芽会」が共同開発したオリジナルの教育プログラムです。

見る力、聞く力、話す力、考える力、行う力の5つの力をバランス良く伸ばし、「自立」「自主性」「想像力」の心を育み、集団生活をきちんと営むことができる子どもたちを育てます。

モンテッソーリ教育

子どもの自主性や集中力を育てるとともに、自信と品格を育みます。各界のリーダーを数多く育てた世界で注目されている教育法です。

モンテッソーリでは集団で同じことをするのではなく、何をするか自分で選択し、自発性を重んじ、自由に発想する環境を提供します。国際資格を持つスタッフが子どもの知的好奇心を育む手助けをします。

幼稚園・小学校受験クラス

幼稚園受験、小学校受験に向けて、基礎を身に付けます。幼稚園受験、小学校受験では非認知能力が重視されます。そのため、幼児期に必要な非認知能力を高める取り組みを行っています。

当社グループは東京を中心とする大都市圏で施設展開し、安定した経営基盤を築いています。

◆ 民間教育施設の展開地域 ⇒ 教育感度が高い都内中心部

- ・港区（都市別平均年収：全国1位）※1
- ・渋谷区（都市別平均年収：全国3位）※1
- ・世田谷区（都市別平均年収：全国8位）※1

◆ 認可保育所の展開地域

- ・東京都（都道府県別平均年収：全国1位）※2
- ・神奈川県（都道府県別平均年収：全国2位）※2
- ・愛知県（都道府県別平均年収：全国3位）※2

◆ 展開地域のメリット

- ✓ 少子化の影響が相対的に小さい
- ✓ 保育士数が多く、採用を進めやすい
- ✓ 東京都の手厚い補助金制度の活用
- ✓ 教育感度が高く、かつ教育への投資余力が高い地域であるため、今後の付加サービスの潜在対象層となる

※1：総務省「課税標準額段階別令和2年度分所得割額等に関する調」より当社作成

※2：厚生労働省「令和2年賃金構造基本統計調査」より当社作成

事業計画及び成長可能性に関する事項 目次

● 企業ビジョンと会社概要	P2
● 事業内容	P5
● 民間教育サービス事業について	P9
● 認可保育所事業について	P16
● 当社の強み	P20
● 市場環境のこれから	P27
● キッズガーデン教育圏の確立と成長戦略	P33
● 事業の拡大イメージ	P40
● 中期目標数値と事業計画	P43
● リスク情報	P47

ここ数年、少子化の進行や保育所の新規開設により待機児童が減少する中で、新型コロナウイルス感染症がさらなるきっかけとなり、保育・幼児教育市場は大きな転換点を迎えています。多くの児童が園に入れなかった時代から、利用者が施設を選ぶ時代に変わりつつあります。

一方で、国の次世代の基盤を作るための子育て支援と、子どもたちの育成・教育の重要性、また女性の活躍を後押しする環境整備の必要性は変わりません。

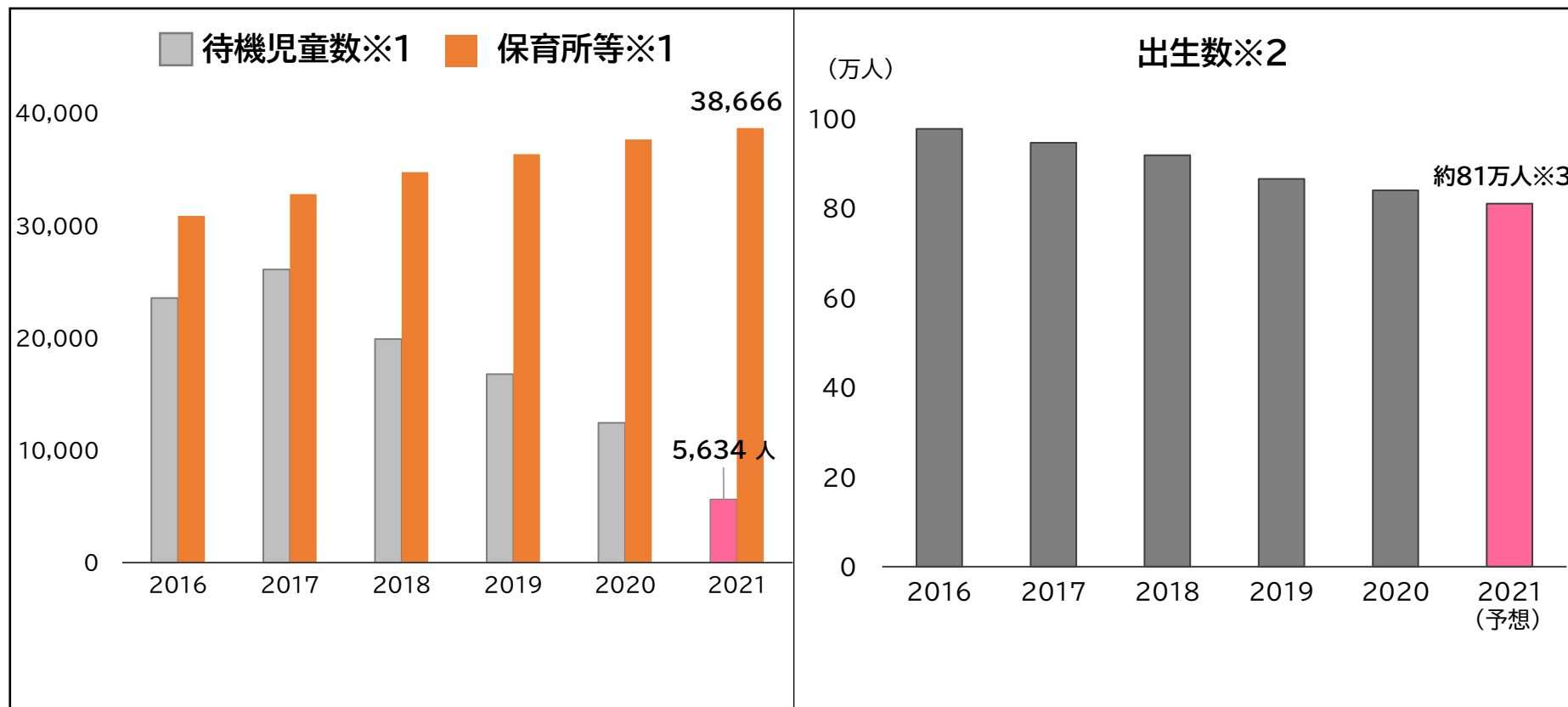
一人あたりの教育費は拡大傾向が続いており、保育・幼児教育サービスの市場は継続的に成長しています。

これからの時代で、保育・幼児教育事業者に求められるのは、利用者のニーズをくみ取り、それに応えるサービスを生み出し、提供する事で得られる「選ばれる力」です。

当社グループは、これまで培ってきた強みを存分に生かし、これからの保育・幼児教育市場で利用者のニーズにしっかりと応え、持続的な成長を目指していきます。

● 解消が進む待機児童問題

政府の手厚い支援策による、保育所等の施設数増加に加え、コロナ禍の影響による一時的な新規利用者の減少により待機児童数は減少傾向で推移しています。



※1:厚生労働省「保育所等関連状況取りまとめ(令和3年4月1日)」より当社作成

※2:厚生労働省「人口動態総覧の年次推移」より当社作成

※3:出所:日本総研「リサーチ・フォーカスNo.2021-028」

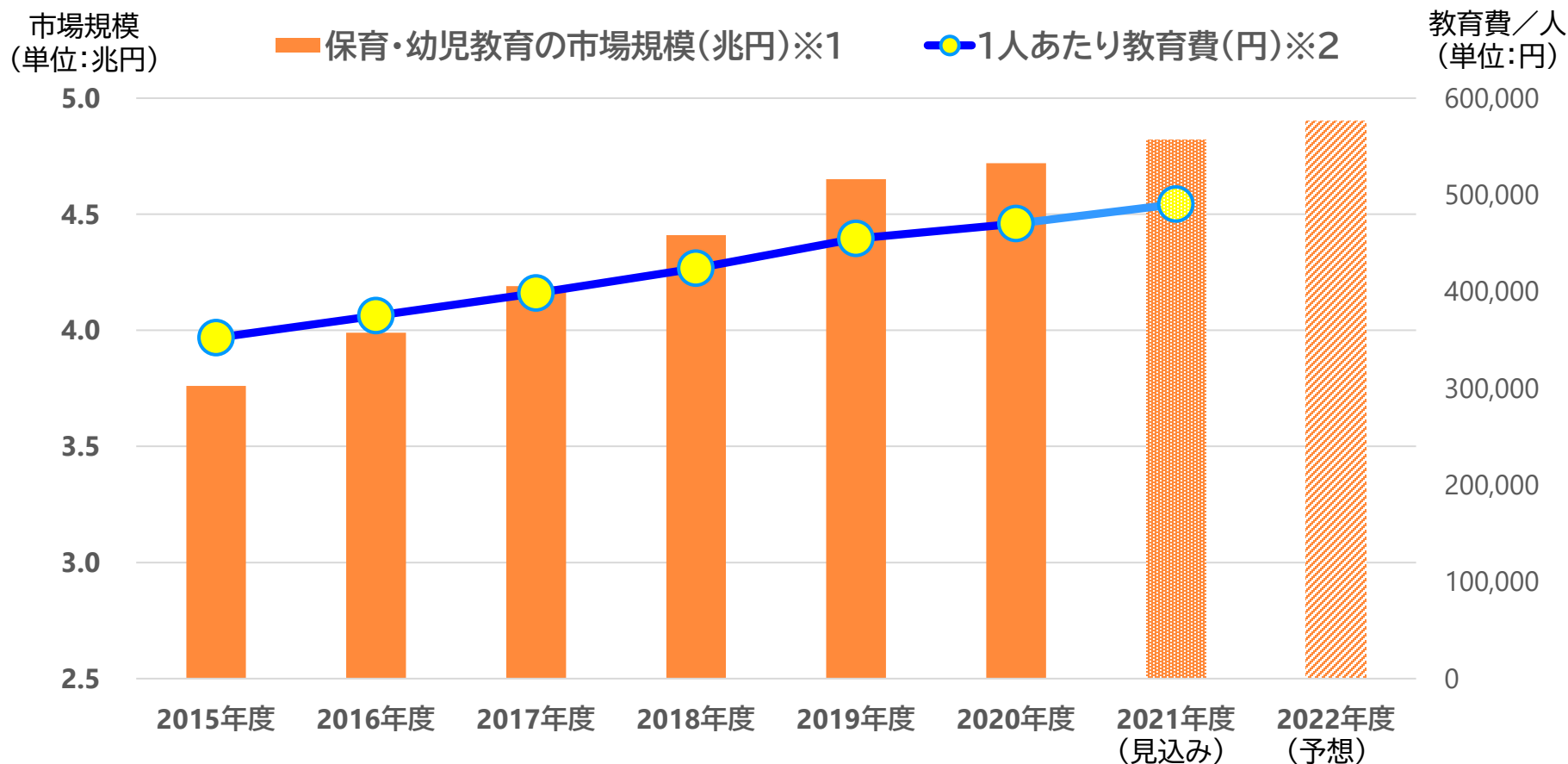
待機児童の解消の為、過去20年にわたり保育施設の新設が進められてきました。今後は、保育・幼児教育の質の向上、保育士の処遇改善を含む環境改善が重視される見通しです。

	施策	主な内容
2000年	保育所設置に係る主体制限の撤廃	民間事業者(株式会社等)の参入が可能に
2001年	待機児童ゼロ作戦	保育所等の受入児童数を2004年度までに15万人増
2004年	子ども・子育て応援プラン	保育所等の受入児童数を2009年度までに215万人へ拡大
2008年	新待機児童ゼロ作戦	今後10年間で保育所等の利用児童数を100万人増
2010年	子ども・子育てビジョン	保育所等の利用児童数を2014年度までに241万人へ拡大
2013年	待機児童解消加速化プラン	2017年度までに約40万人の受け皿整備
2017年	子育て安心プラン	2020年度までに約32万人の受け皿整備
2019年	幼児教育・保育の無償化	0歳～2歳までの住民税非課税世帯及び3～5歳までの全ての子どもたちの幼稚園、保育所等の利用料を無償化
2020年	新子育て安心プラン	2024年度までに約14万人の受け皿整備

現在、検討されている施策		
2021年～	公定価格評価検討委員会設置	保育士等の処遇改善
	こども庁の創設	子どもに関わる政策を一元的に担う

● 保育・幼児教育サービス全体の市場環境

少子化が進む中で、一人あたり教育費は増加傾向にあり、市場全体は拡大しています。



※1:矢野経済研究所「保育・幼児教育市場の実態と展望2021」より当社作成

※2:保育・幼児教育の市場規模/日本の0歳~9歳人口※3にて当社作成

※3:総務省「住民基本台帳年齢階級別人口(各年度)」より当社作成

転換期の保育・幼児教育市場において、当社グループが培ってきた顧客視点でのサービス、充実した教育プログラムの経験・ノウハウによる、「選ばれる力」が優位性の基盤となります。

民間教育サービス事業

- 幼児教育無償化など政府の施策が幼児教育への需要を後押し
- 一人あたり教育費が増加する中、より専門的、より質の高い教育プログラムのニーズが拡大

⇒ 最先端の教育プログラムの開発導入と展開を進め、当社グループの成長をけん引

認可保育所事業

- 政府の施策は、施設整備などハードを中心とした支援から、保育士の待遇改善などソフト面の支援へと移行
- 待機児童問題が解消へ向かう中で、サービスの内容・質が問われる時代
- 事業者の「選ばれる力」が必要

⇒ 質の高いサービスと民間教育サービスで培った選ばれる力を活かし、安定運営

事業計画及び成長可能性に関する事項 目次

● 企業ビジョンと会社概要	P2
● 事業内容	P5
● 民間教育サービス事業について	P9
● 認可保育所事業について	P16
● 当社の強み	P20
● 市場環境のこれから	P27
● キッズガーデン教育圏の確立と成長戦略	P33
● 事業の拡大イメージ	P40
● 中期目標数値と事業計画	P43
● リスク情報	P47

●キッズガーデン教育圏の確立

当社グループの成長戦略の核として、子どもの成長に重要な0～9歳における教育サービスを提供する「キッズガーデン教育圏」の確立・拡大を目指していきます。



成長戦略の軸として、民間教育サービスの拡大に重点的に取り組み、当社グループのサービス利用者数の大幅な増加を図っていきます。

民間教育サービス事業の展開

ポイント1 民間教育サービス事業への重点投資

- ・新規開設の加速
- ・プログラム開発への投資

ポイント2 展開エリアの拡大

- ・都心部から全国へエリアを拡大
- ・広い商圈に向けたセカンドラインの開発

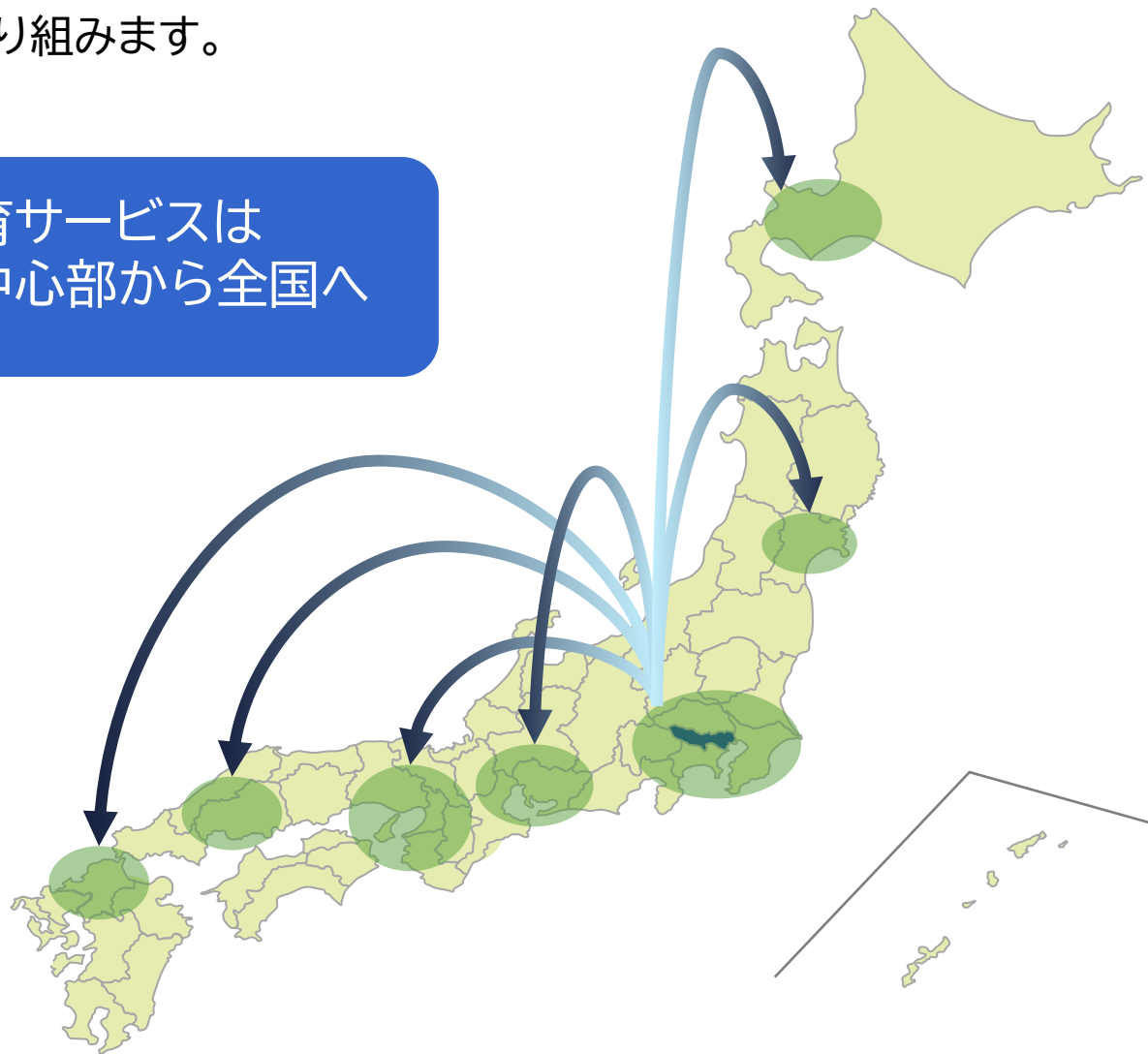
ポイント3 プログラム開発・提供の拡大

- ・施設利用型サービスメニューの拡大
- ・施設外サービスの開発提供
- ・外部事業者へのプログラム提供
- ・専門集団との連携強化

● 展開エリアの拡大／セカンドラインの開発(民間教育サービス)

民間教育サービス事業においては、東京中心部からエリアを広げて展開をしていきます。地域ニーズに沿ったサービス内容、通いやすい料金設定のサービスモデルによるセカンドラインの開発に取り組めます。

民間教育サービスは
東京の中心部から全国へ



●プログラム開発・提供の拡大

サービスメニューを増やして利用者のニーズに応えるとともに、収益力アップを図ります。外部事業者への教育プログラムの提供も進め、当社グループのサービス利用者の拡大を図ります。

施設利用型サービスメニューの強化・拡充	受験教室・体操教室・水泳教室などのサービス、サマースクール・ウィンタースクール等の季節限定コースなどの提供で、定期利用者のみならず、一時利用者の増加につなげます。
施設外サービスの開発・提供	キャンプ、スキー教室、野外体験教室など、施設にとらわれない体験型サービスの開発・提供を行い、サービスの利用拡大を図ります。
外部事業者へのプログラム提供	当社グループオリジナルのKID'S PREP. PROGRAM販売など、教育プログラムの外部事業者への提供を通じて、当社グループのサービス利用者を拡大します。

キッズガーデン教育圏構想のフラッグシップ施設として、「キッズガーデン南青山」を2021年10月1日にオープンしました。

キッズガーデン南青山

1歳～9歳までの一貫教育を実現する保育・幼児教育・学童が一体となった大型施設
フラッグシップとして、当社の教育プログラム・コンテンツの開発拠点としての役割も担う

特 徴

- 都内最大級(約2,200㎡)の大型保育・教育施設
- 施設内に25m専用プール完備
- 外苑前駅から徒歩4分の好立地
- バージョンアップした多彩なプログラムを実施
- キッズガーデンスポーツプロジェクトの第1号施設としてスタート



健やかな身体の成長が健やかな心を生むをコンセプトに、トップアスリートも取り入れるメソッドを織り込んだキッズガーデンスポーツプロジェクトをスタートします。

キッズガーデンスポーツプロジェクト

①

本物を教える

水泳プログラム(IMPRINT監修)

金メダリストである北島康介さんが代表を務める株式会社IMPRINT監修のプログラムを提供します。水泳の楽しさを体感し、小学校就学前に成果を出します。

達成感を得ることで自信と自己肯定感を高め、更なるレベルアップにつなげます。

※2022年4月より開始予定



②

具体的な成果を出す

体操プログラム(R-body project監修)

これまで500名を超えるオリンピックやトップアスリートのコンディションをサポートしてきた株式会社R-body project監修のプログラムを実施します。

お子さまの運動神経を刺激して、健やかな身体の育成、運動能力の向上を促し、様々なスポーツの技術、身体の使い方を習得する基礎づくりを行います。



③

ココロを育てる

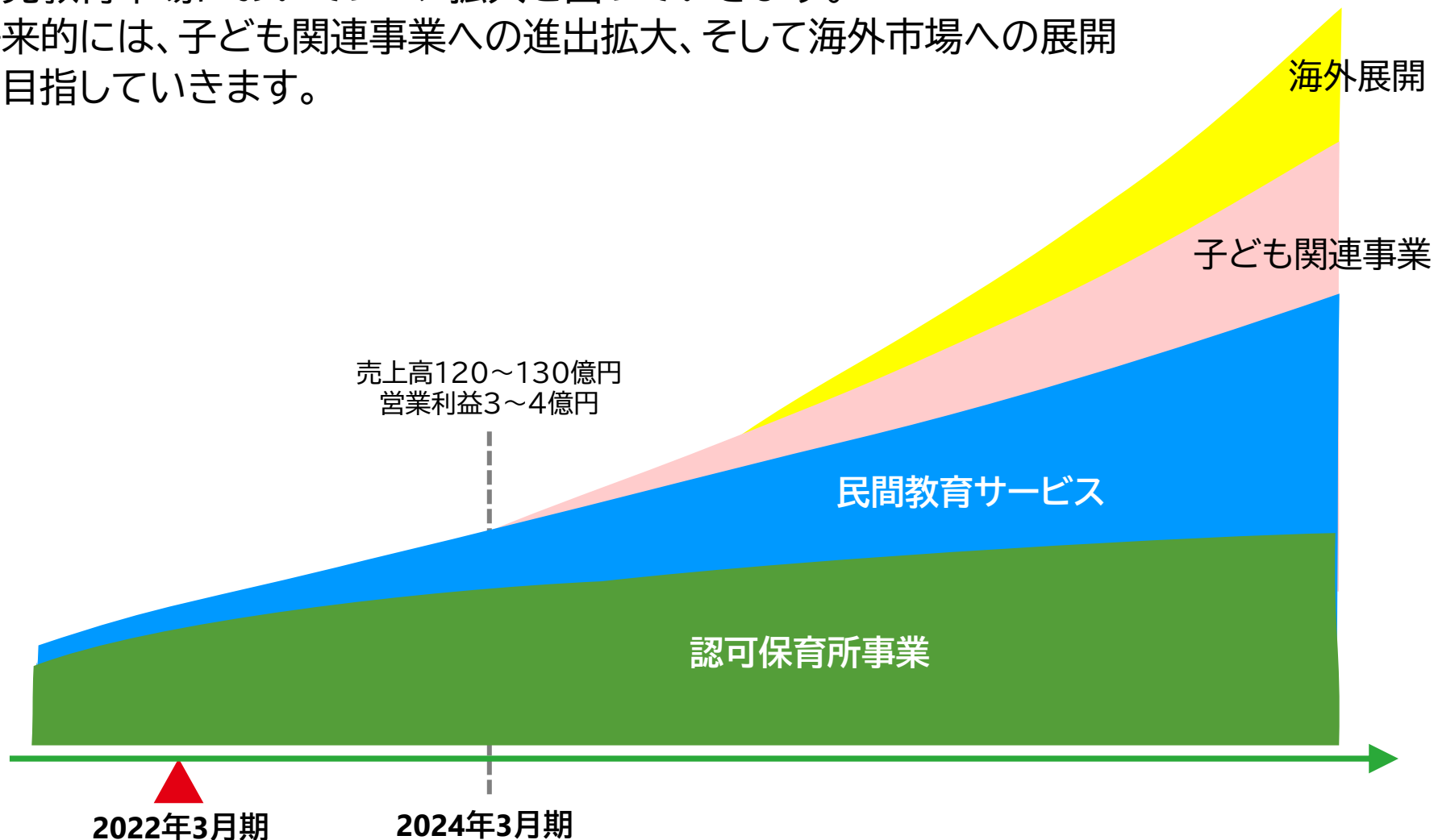
事業計画及び成長可能性に関する事項 目次

● 企業ビジョンと会社概要	P2
● 事業内容	P5
● 民間教育サービス事業について	P9
● 認可保育所事業について	P16
● 当社の強み	P20
● 市場環境のこれから	P27
● キッズガーデン教育圏の確立と成長戦略	P33
● 事業の拡大イメージ	P40
● 中期目標数値と事業計画	P43
● リスク情報	P47

●中長期成長イメージ

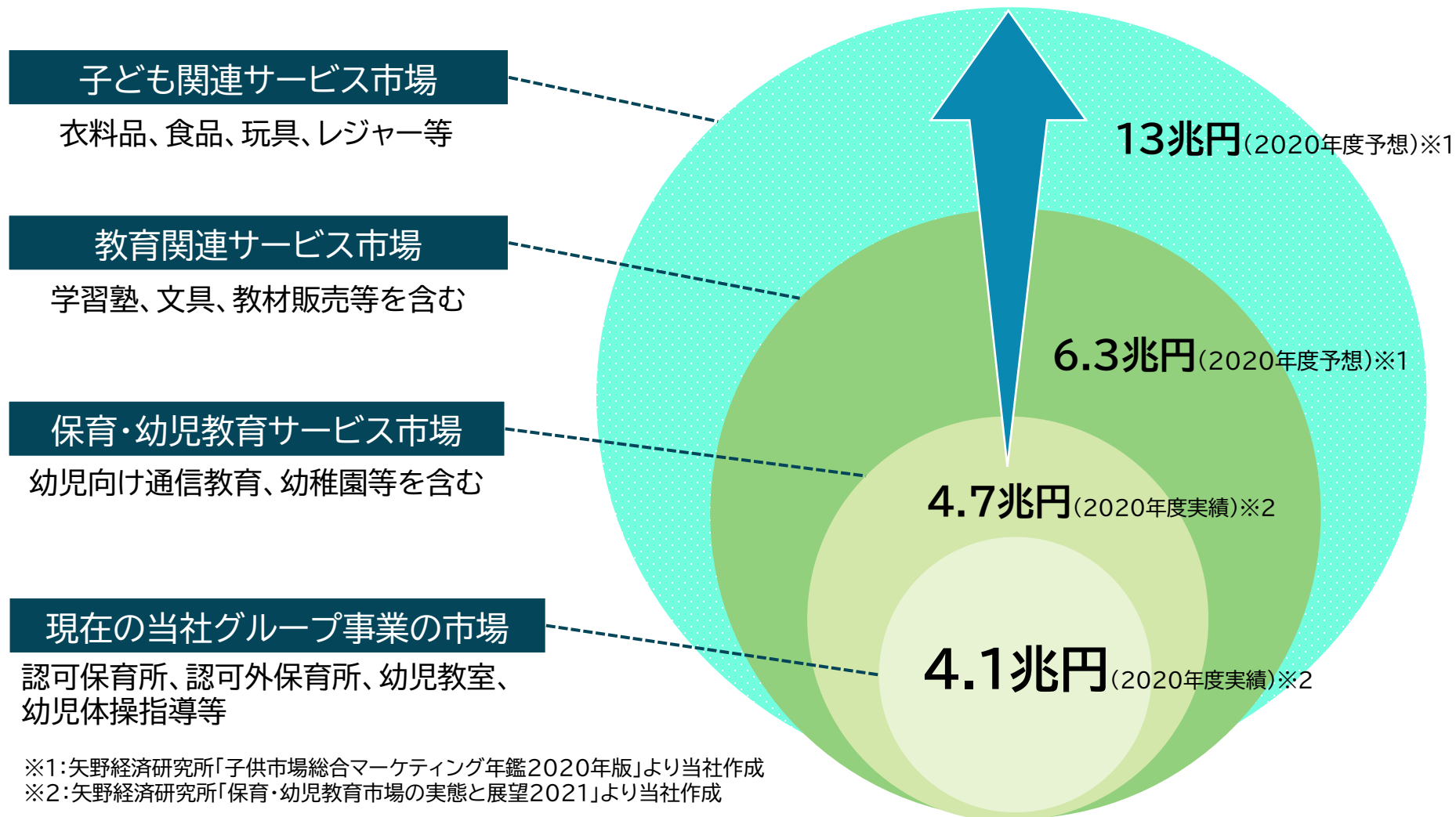
民間教育サービス事業を成長のドライバーとして、0歳～9歳の保育・幼児教育市場においてシェア拡大を図っていきます。

将来的には、子ども関連事業への進出拡大、そして海外市場への展開を目指していきます。



● 将来に見据える市場

子ども関連サービス全体の市場規模は、13兆円とされています。
幼児教育のプロフェッショナルとしてのノウハウを生かして、事業領域の拡大に挑戦します。



事業計画及び成長可能性に関する事項 目次

● 企業ビジョンと会社概要	P2
● 事業内容	P5
● 民間教育サービス事業について	P9
● 認可保育所事業について	P16
● 当社の強み	P20
● 市場環境のこれから	P27
● キッズガーデン教育圏の確立と成長戦略	P33
● 事業の拡大イメージ	P40
● 中期目標数値と事業計画	P43
● リスク情報	P47

●中期業績目標

運営施設の拡大、園児数の増加、提供サービスの拡大により、売上高の伸長と営業利益の黒字化を図っていきます。

単位(百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想(変更無し)	2023年3月期 目標	2024年3月期 目標
売上高	9,113	10,450	11,000~ 12,000	12,000~ 13,000
EBITDA	324	245	800~ 900	1,100~ 1,200
営業利益※1	▲382	▲590	▲100~ 100	300~ 400
営業外損益※2	1,365	1,410	300~ 400	300~ 400
経常利益※2	983	820	300~ 400	600~ 700

※1:営業利益について

- ・2022年3月期は、民間教育サービス事業の大型投資及び新型コロナウイルス感染症の影響を織り込んでおり、前期より減少する見込みとしています。
- ・2023年3月期以降は、既存施設の割合増加及び民間教育サービス事業におけるプログラムの強化などにより、収益力の向上を見込んでいます。

※2:営業外損益及び経常利益について

- ・認可保育所の開設時の施設整備費補助金を営業外収益として計上しています。
 - ・新規開設が民間教育サービス施設へシフトしていく為、営業外損益が減少して営業利益と経常利益の連動性が高まる見通しです。
- (参考)認可保育所開園数

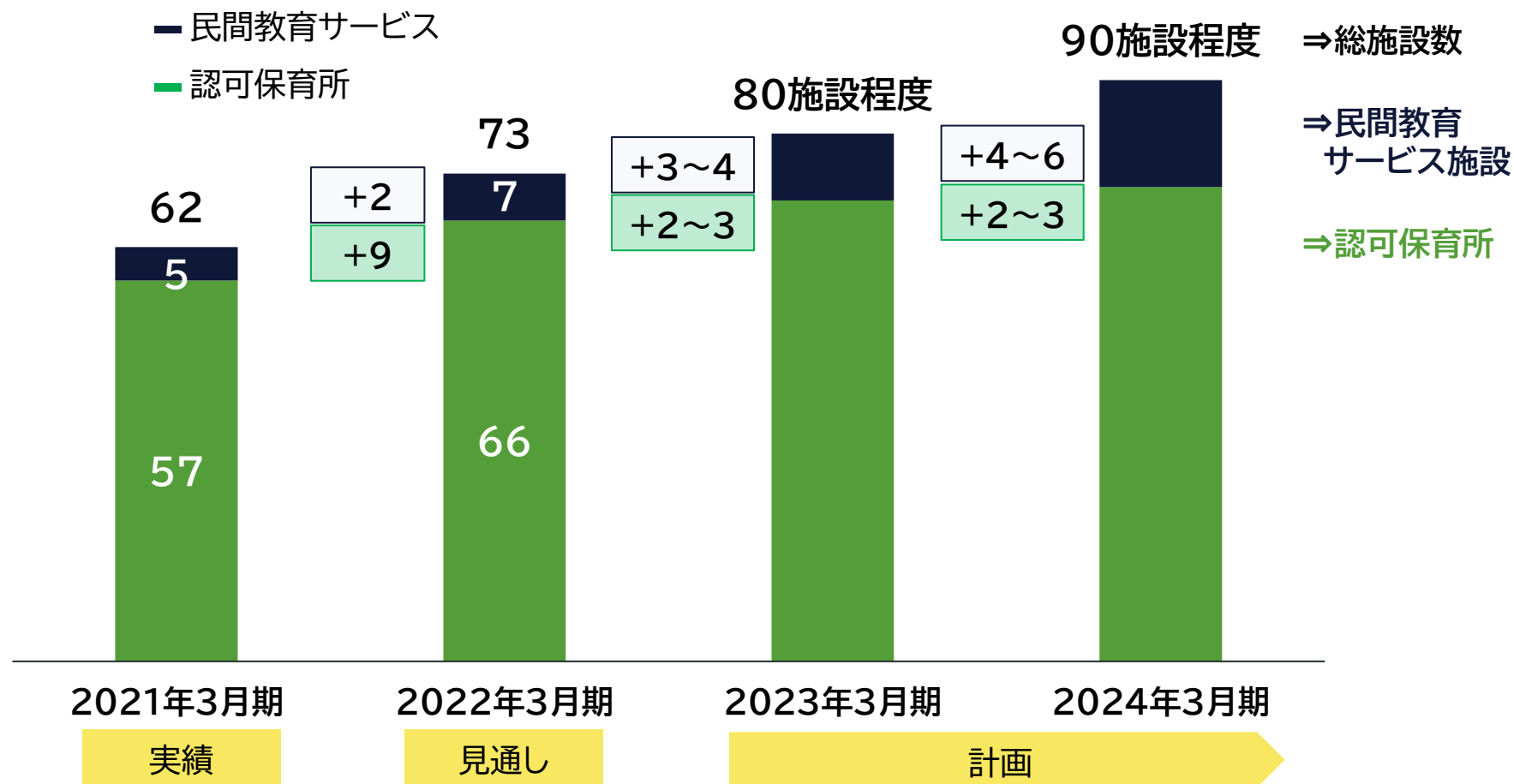
2021年3月期:11園(内2園施設整備費補助金無し)/2022年3月期:9園/2023年3月期(計画):2~3園/2024年3月期(計画):2~3園

※3:2024年3月期以降の業績目標について

- ・今後開示可能な時期で開示します。

●新規施設の開設計画

2024年3月期までに90施設程度への拡大を目指します。
(2021年10月現在73施設)



■今後の投資計画

時期	案件	規模	内容	予定額	着手予定	完了予定
2023年3月期開設	認可保育所	2～3施設	内装整備 初期備品 礼金、保証金 など	4～6億円程度	2021年7月～	2022年1月以降
	民間教育サービス	3～4施設		3～4億円程度	2022年7月以降	2022年10月以降
2024年3月期開設	認可保育所	2～3施設		4～6億円程度	2022年7月以降	2023年1月以降
	民間教育サービス	4～6施設		4～6億円程度	2022年11月以降	2023年1月以降

※投資計画については、現段階の見通しで作成しています。

※今後の開設は、社会情勢や物件状況を見極めながら実施していきます。

事業計画及び成長可能性に関する事項 目次

● 企業ビジョンと会社概要	P2
● 事業内容	P5
● 民間教育サービス事業について	P9
● 認可保育所事業について	P16
● 当社の強み	P20
● 市場環境のこれから	P27
● キッズガーデン教育圏の確立と成長戦略	P33
● 事業の拡大イメージ	P40
● 中期目標数値と事業計画	P43
● リスク情報	P47

以下には、成長の実現や事業計画の遂行に重要な影響を与える可能性があるとして認識する主要なリスクについて記載しています。その他のリスクにつきましては、有価証券報告書「事業等のリスク」をご参照ください。

事業環境に係るリスク	リスクの概要	顕在化可能性	影響度	対応方針
子育て支援における国・自治体の方針変更や関連法令等の改正等	当社グループが現在運営する事業は、児童福祉法、子ども・子育て支援法及び食品衛生法等の法規制が存在します。国や自治体の方針変更や関連法令等の改正が実施された場合、事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	大	大	将来的な国や自治体の方針変更等による補助金が減少するリスクも見込んだ収支計画に基づき、施設を運営していきます。各自治体との連携を深め、適切に運営を続けるとともに、民間教育サービスの拡大を図り、よりリスクの低減に努めていきます。
人材の確保及びその育成	予定した職員数が確保できない場合、新規施設開園計画の遅延や既存施設の運営計画に支障が生じ、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。	小	中	人事部門の強化、社員紹介制度の構築、保育士専門の人材紹介会社からの紹介強化等の施策を実施しています。また、教育研修制度や人事評価制度の充実を進め、人材確保と離職率の低下に向けた取り組みを行っています。
食の安全性	食中毒や異物混入などの食の安全に関する重大な事故が発生した場合、事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	小	中	食品衛生法に基づき、各施設において厳選した食材管理及び衛生管理を実施しています。
運営施設における事故	運営施設において、重大な事故やトラブルが発生した場合には、行政処分による営業停止や園児の転園等により、事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	小	中	事故防止及び事故発生時のマニュアルに基づき、重大な事故・怪我の防止策を講じた上で運営していきます。
大規模災害及び感染症の流行の長期化	大規模災害に発生により園児や従業員、施設の建物が被害を受けた場合、また、感染症により当該施設に従事する保育士やスタッフ、児童が多数感染した場合、事業及び業績に影響を及ぼす可能性があります。	中	大	BCPの作成及び感染症に対するマニュアルに基づいた対策を実施しています。

- ◆ 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点における情報に基づき判断したものであり、市場環境や当社の関連する業界動向、その他内部・外部要因等により変動する可能性があります。
- ◆ 実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご承知おきください。
- ◆ 事業計画及び成長可能性に関する事項の進捗を含む最新の開示について、次回は、2022年3月期決算発表時(2022年5月)を予定しています。